

紫 筍

第 32 号

平成元年



新校舎完成予想図
(建物以外は未定)

目次

表紙写真(新校舎予想図)	表 1
目次・奨学金申込者	表 2
母校野球部と歩む二十有余年間の青春	
16期H組 土屋 昌昭さん	1～3
野球(夏の都大会)戦績	
四十有余年……ベスト8にも	4
平成元年野球部抱負・メンバー	
都大会優勝校の変遷	5
30周年記念、11期生同期会	
級別写真 E組(菅野二郎先生)	
(一部) C組(赤坂正雄先生)	6
7期生同期会(第一回記念パーティ)	7
文京高校敷地内の鳥たち	2H 水野都美子
文京高校敷地内の雑草	2D 瀬畑 直子
	8
	41期 C 関元弘
	2B 上金洋次郎
	9
進学者過去統計(国公立)昭和38年以降	10
〃 (私立)	〃
	11
教職員異動について	12
幹事会、お知らせ、市三会	13
進学状況・就職状況	14
同窓会協賛者名刺・駅伝写真	16
会計報告・後付	表 3
	表 4

奨学金申込者

(一口 五千元)	
送金受領順です。	
宮田 典夫(二D)	福山 裕之(四C)
柏崎 忠雄(8E)	宮田 淳(8B)
大野 忠雄(四B)	柴崎 菊雄(二E)
稲葉 昭一(15H)	山田 精一(1AB)
本間 康雄(四B)	丸山記久麿(8B)
島野良之右(5C)	松原 紀之(11A)
重枝 力(9C)	和田 匡弘(38B)
堀口 壬也(二B)	藤岡 貞雄(1AB)
黒岩 禎一(3C)	北田 元幸(二D)
鏑木 實(四A)	福永 頌(5B)
田畑(山田)寿子	
右高 研至(5F)	一 口
小林 悦郎(7A)	飯井 正寛(16E)
磯田 信一(14F)	飯坂 忠昭(二E)
吉沢 圭祐(25F)	羽葉 弘明(27C)
川村 長一(2C)	新井 清作(3D)
藤本 博(24I)	磯部甲太郎(4D)
尾形 佳郎(6C)	石川 重之(一A)
椎名 健二(5E)	菊池 堯(四C)
正道寺 勉(20H)	篠原(新倉)莊輔(三C)
	高木 聡輔(5D)
	櫻井 清(7D)
	高橋 祥介(11D)
	中村 義作(一C)
	芳井 巖(四B)
	横田 孝郎(四A)
	中村 博(3B)
	堀尾(菅沼)希美枝(9A)
	鈴木 晴夫(11F)
	中島(中西)啓之(12C)
	中村 久(二B)
	中井 寿子(23E)
	横島 一郎(6A)
	武田 正人(31F)
	岡田 啓峙(8E)
	関根 秀次(9C)
	鈴木 勲(一A)
	長岡(青木)康子(27H)
	毛利(山崎)幸子(18F)
	山崎(志知)翠(8B)
	福島 輝男(2C)
	青木 修(16F)

本年は奨学にふさわしい成果を残された21名の方々に、一万円の高書券をさし上げました。

第14弾

母校野球部と歩む

二十有余年間の青春

16期H組 土屋 昌昭さん

プロフィール

昭和三十九年（16期H）卒、早稲田大学を経て東京消防庁に勤務。本校卒業後野球部助監督、昭和四十二年から昭和六十三年まで二十年間以上にわたり本校野球部の監督として後輩の指導にあたる。昭和六十二年度には本会の副会長も務める。



年生にくらたらしい先輩がいて、その人がいやでやめました。その先輩が部を出てから、再び入部しましたけどね。

Q、高校時代について。

A、文京にきたら、そのにくたらしい先輩が野球部にいましてね。（笑）野球やれ、と言われてははじめはどうしようかなと思っただけ、好きな野球だし、入部しました。今度はその先輩にかわいがってもらいました。

Q、活動状況について。

A、練習は、授業が終わってから八時ごろまでやりました。今よりも長くやりました。

部費もなくて、バット一本で大会に出て、このバットが折れたらどうしようと思っていた時もありましたね。グラウンドは野球部が優先して使っていました。

Q、やはり甲子園を目指しましたか？

A、もちろんです。

監督になる決意

Q、チーム状況は？

A、中学時代に主将をやっていたので、強いものが多かった。指導者がいなかったもので、いいものをもっていても育たないことがありますよね。やっぱり指導者の存在は重要ですね。そういった部分で、先輩のめんどうをみてやろうかなと思いました。

Q、監督時代について。いつごろからですか。

A、卒業してすぐ、同級生と二人でやりました。その時はOBの方が監督をなさっていました。私は一年浪人して大学に入り、四十二年から、監督になりました。

Q、大学との両立はどうでしたか？

A、学校へ行っても、練習のスケジュールや、試合のメンバーのことや、そういったことはかり考えてましたね。授業半分、野球半分という感じでした。バイト代で野球道具を買ってあたえていました。

Q、子供のころの遊びは？

A、今とちがって昔は野原がたくさんあって、男の子が数人集まると、三角ベースをやっていました。本格的に野球をはじめたのは、小学校六年の時でした。板橋に住んでいたけれど、友達が池袋のチームにいたので、そっちに入りました。当時は男がやるのは野球しかない、という感じがありましたね。

Q、中学校へ進んでも野球を続けましたか？

A、ええ、野球部に入りました。しかし、二

Q、一番印象的だったチームは？

A、渡部曜先生が文京高校の学生でいらしたころの同級生の時代ですね。四十五年の夏の大会で甲子園に出場した日大一高と六回戦で対戦して負けた時です。日大一高のピッチャーは、その大会で四点しかとられていなくて、そのうちの二点は文京がとりました。そういう意味で、私は立派じゃないかと思っています。その時、都立では文京が最後まで勝ち残っていて、朝日新聞に載った「都立文京負け。都立勢、姿を消す」という見だしは未だに頭に焼きついています。

Q、監督をやっていてよかったと思ふ時は？
A、自分の思っている通りの試合ができた時ですね。しかし二十年以上監督をやってきたが、そういう試合は一・二回しかなかったです。

Q、チームを指導する時に気をつけた点は？
A、クラブというのは、一つの封権的社会であるけれども、一番気を使った点は暴力です。みんな好きでやっているものだから、環境が大切だと思えます。自分でも経験があるけれど、やな先輩がいるからやめるといふのは避けたいですからね。あと選手には絶対手をあげないことです。でもグラウンドを走らせることはしました。一度だけキャプテンに対して

手をあげたことがあります。そのことだけは今でも少し考えてしまっていますね。

自分の子供を見ると……

Q、子供には野球をやらせますか？

A、やれ、と強制はしていませんが、できることならやってほしいなあという気持ちはあります。ときどきゴムのボールを上投げて投げて打たせてみるのですが、よく打つので、バッティングだけはいいかなあと思ったりすることもあります。これは親バカかもしれせんね。(笑)子供には自分の好きなことをやらせてあげたいですね。でも水泳だけはやらせています。泳げないとおぼれて死んでしまいますからね。これは私の父親も言っていたことなので、父親に影響をうけました。

野球中心の職業選択

Q、現在の職業を選んだ理由は？

A、本当は教師になりたかったんですよ。今は教師になるのは大変だけれど、私が大学を卒業したころは、教師の口はたくさんありましてね。しかし一般の会社の景気もよかったので、公務員ならばどこでもいいや、という感じになって、消防庁にいきました。もう一つの理由には、この職業の勤務体制が当番、

非番制で、一日勤務すると次の日は明け番になって休めるから、文京野球部のめんどうをまだまだみれる、と思っただんです。

これを言うとう会社に怒られますけど、むしろ「野球が主で、仕事が従」というところですね。(笑)

Q、当時の文京はどのようでしたか。

A、やはり男子校だったので、バンカラ風で、質実剛健といった感じだった。中学校から入ってきて二・三年生が大人に見えて、高校というのはこんなにも違うのかなと思いましたが、そして自分が先輩になって、入学してくる一年生を見ると、なんでこんなにかわいいのかなあという気持ちになりました。

Q、文化祭や体育祭などは

A、進学校だったせいか、準備や練習もなにもやらないで、ぶっつけ本番でやって、後は勉強する、という体制だった。今はいろいろな行事がたくさんあって、楽しみが多くていいですね。

今の子は迫力に欠ける

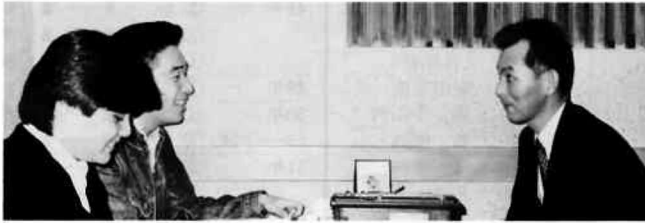
Q、現在の文京について

A、野球部を例にしますと、自分より上手な人がいたら、そいつを抜いてレギュラーになってやろう、というような気持がありません

ね。同じ三年間やるならレギュラーになれた方がいいでしょう。文京生に限らず、今の子供たちは、迫力に欠け、軟弱な感じがあります。今の文京は外から見ると中途半端的な感じがあるので、そのへんをもっとがんばれば、学校全体がよい方向に行くのではないのでしょうか。そういったところから伝統が生まれてくると思います。

Q、今の子の軟弱さの原因はどこにあると思いますか？

A、一つに今の教育制度にあると思います。人間一人一人顔がちがうように能力もちがいますよね。それを均等化しようとする方針。偏差値教育なんかもそうですね。私達のころ



は、先生に学力に応じてどここの学校を受けろとは言われましたけど、偏差値というのはなかったですね。だから本当に自分の入りたい大学にむけてがんばりました。しかし、今の子は、偏差値がいくつだということから脱皮できない。そこで一歩がんばれば、もっと上へいけるのに、自分の偏差値はこのくらいだからこの大学を受験しよう、これが自分の限界だ、と思ってあきらめて、努力しない感じがありますね。できる人もできない人も、努力の過程が一番大切だと思います。もともと自分の可能性を追求してほしいです。私には、「人間、やればできる」ということが信念にあるのですが、一つの壁があつて、それを越えるか、越えないかの境だと思えます。やればできるのに、やらない。このようなことには、雰囲気というものも関係してると思います。環境に従うのが人間で、器がよければその人はよい方向に行くのではないのでしょうか。しかし、環境に甘えてはいけませんけど。そういったところが残念です。

一 つのことに熱中

Q、監督時代と今の生活のちがいはありますか？

A、生活のリズムが違いますね。月に二回、

二連休がありますが、何をやるうかなあと思う時もありますね。今までさんざん迷惑をかけてきた家族に、うめあわせをしているという感じですね。しかしこれでいいのかなあと思う時もありますよ。やはり人間は一つのこと熱中していた方がいいですからね。だからよく帝京の練習試合を見て、監督のように、あれこれ考えてますよ。

文京に期待すること

Q、これからの文京高校に対して何かありますか？

A、やはり、新聞の活字になるようなことで「文京高校、ここにあり」ということを示してほしいです。そしてOBの方々もそれに協力してもらいたいものです。

最後に

Q、自分にとって野球とは。

A、野球というスポーツを通じて、自分自身変りましたし、私の生活は野球中心でした。そえです。私にとって野球とは「心の礎」です。

（平成元年卒、立浪邦治、立石一真）
副会長 渡部 曜

●都立文京高校野球部の歩み（夏期成績）

作成：部長 加藤尚彦教諭

(昭和)	(何回戦)	(文京)	(対戦高校)
21年	②	10—0	都、北園 (都七中)
	③	1—10	慶応商工
22年	②	10—0	京橋化工
	③	2—0	都、九段
	準々決勝	0—1	慶応商工
23年	①	0—5	日大二高
24年	①	7—4	都、九段
	②	1—7	都、一高 (日比谷)
25年	①	4—2	安田学園
	②	1—2	都、小山台
26年	①	不戦勝	都、函芸
	②	1—2	都、農林
27年	①	8—2	芝浦
	②	7—6	都、鮫州
	③	1—0	海城
	④	0—1	都、二商
28年	①	2—1	都、青山
	②	3—9	都、国立
29年	①	2—3	都、西
30年	①	0—1	都、国立
31年	①	0—4	京華商
32年	①	0—3	都、西
33年	②(4?)	0—17	法政一
34年	①	3—5	昭和一商
35年	①	2—1	都、豊島実
	②	1—5	都、石神井
36年	①	3—2	都、小山台
	②	1—6	成城学園
37年	①	7—0	都、九段
	②	2—17	都、大島
38年	①	13—0	東亜商
	②	13—6	都、化工
	③	3—6	都、武蔵
39年	②	4—5	都、八王子工
40年	②	4—2	都、石神井
	③	6—2	育英高専
	④	8—6	葛飾商
	⑤	0—8	荏原
41年	②	3—2	都、千歳
	③	1—2	城西
42年	②	7—0	都、玉川
	③	1—2	都、大森
43年	②	12—10	安田学園
	③	8—1	豊島実
	④	1—2	国学院久我山
44年	①	8—9	明大中野

(昭和)	(何回戦)	(文京)	(対戦高校)
45年	④	5—4	都、鷺宮
	(シード校)⑤	7—4	都、明正
	⑥	2—9	日大一
46年	②	11—1	都、日比谷
	③	1—0	関東商工
	④	2—3	中大杉並
47年	②	3—5	都、大泉
48年	②	5—4	昭和一工
	③	9—2	東洋
	④	0—8	駒大付
49年	①	1—2	都、大山
50年	④	11—8	都、城北
	(シード校)⑤	0—7	日大一
51年	②	12—4	駒込
	③	4—0	都、葛西工
	④	4—19	修徳
52年	①	13—6	都文館
	②	2—8	岩倉
53年	②	8—6	正則
	③	3—1	芝工大一
	④	10—3	独協
	⑤	2—16	修徳
54年	①	11—2	都、新島
	②	6—0	豊南
	③	1—4	都、南葛飾
55年	①	2—3	都、葛飾商
56年	①	1—0	都、青山
	②	3—2	都、足立新田
	③	1—8	都、江戸川
57年	①	4—1	青山学院
	②	1—2	都、足立東
58年	①	4—3	本郷
	②	0—8	城西
59年	①	11—0	都文館
	②	3—1	豊島実
	③	0—7	城西
60年	①	8—5	駒込
	②	6—3	葛飾商
	③	0—7	大東大一
61年	①	10—3	城西
	②	0—7	日大一
62年	①	6—9	都、足立工
63年	①	7—8	都、京橋
平成			
元年	①	7—0	都、青井
	②	7—4	都、駒場
	③	2—5	都、葛飾野

年	回	優勝校
昭 6	17	早稲田実
	18	"
	19	慶応商工
	20	早稲田実
昭 10	21	"
	22	"
	23	慶応商工
	24	日大三
	25	帝京商(辞退)
(1940)	26	日大三
昭 16	27	帝京商
(戦争で中断)		
昭 21	28	高師付
	29	慶応商工
	30	慶 応
	31	"
(1950)	32	明 治
	33	早稲田実
	34	日大三
	35	明 治
	36	早稲田実
昭 30	37	日大三
	38	早稲田実
	39	"
	40	明 治
	41	日大三
(1960)	42	早稲田実
	43	法政大
	44	日大三
	45	日大三
	46	修 徳
昭 40	47	日大三
	48	修 徳
	49	堀 越
	50	日大三
	51	"
(1970)	52	"
	53	"
	54	日大桜丘
	55	日大三
(西東に分かれ東地区)		
	56	城 西
昭 50	57	早稲田実
	58	日体荏原
	59	早稲田実
	60	"
	61	城 西
(1980)	62	早稲田実
	63	"
	64	"
	65	帝 京
	66	日大三
昭 60	67	関 東
	68	正則学園
	69	帝 京
	70	日大三
平成元年(1989)	71	帝 京



(投) ◎萩原 貴史③ 志村一 塚
(捕) 片寄 恭則③ 大田 大 端
(一) 上木 康央③ 志村一 四
(二) 高橋 博之③ 志村一 谷
(三) 北原 真③ 志村一 二
(遊) 石川 慶③ 板橋 著 船
(左) 渡辺 賢③ 堀 著 台
(中) 田中 登③ 堀 著 十
(右) 久間 崇士③ 利記③ 島
補 " 山口 高志② 高 文 京
" " 守橋 雅之③ 西 巢
" " 川 日 出海③ 桜 文 京
" " 森川 公雄③ 文 京 子
" " 織田 秀明③ 王 文 京 三
" " 広永 俊夫③ 隆行③ 志 村
部長 加藤 尚彦 則次
監督 滝口

■平成元年夏大会参加者 今年こそ実力出す

今年には練習試合をたくさんしてきたので、その経験を生かして一戦一戦を大切にしたい。昨年、一昨年とも一回戦負けを喫しているので、今年こそは実力をフルに発揮し三回戦進出を目標にがんばりたい。(豊島区西巢鴨一丁目、42人、一回戦)

年	回	優勝校
大 4	1	早稲田実
(1915)	2	慶応普通
	3	"
	4	"
(1920)	5	"
	6	"
	7	"
	8	早稲田実
	9	"
	10	"
	11	"
昭 元	12	"
	13	"
	14	"
	15	慶応商工
(1930)	16	慶応普通

文京高校卒業第11期生30周年記念

平成元年 5月21日
池袋：ロンフォン

- | | | | | | |
|----|----|-------|-------------|----|------|
| 幹事 | A組 | 千徳慶央、 | 茶山照子 | B組 | 吉川典紀 |
| | C組 | 飯塚和男、 | 白井 進、 二瓶鋭二、 | D組 | 保坂佳秀 |
| | E組 | 皆川 昇、 | 君崎 (齊藤) 悦子 | F組 | 星野静雄 |



E組
(担任 菅野二郎先生)



C組
(担任 赤坂正雄先生)

文京高校7期同期会

(第一回記念パーティ)

昭和63年10月30日

銀座：日航ホテル

参加者 119名

小林悦朗(A)他各組協力



文京高校第7期同期会
第1回記念パーティ

第1回記念ハーティ

第1回記念ハーティ

第1回記念ハーティ

敷地内で鳥が見られた月に○をしている。

和名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	%
キジバト	○	○	○	○	○	○	○
スズメ	○	○	○	○	○	○	○
ムクドリ	○	○	○	○	○	○	
オナガ				○	○	○	○
ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○
シジュウカラ		○			○		
ウグイス			○				
ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○
ツバメ			○	○	○	○	
メジロ	○	○					
不明(カモ類)			○	○			
不明(サギ類)				○			

文京高校敷地内の鳥たち

理2D

水野都美子
瀬畑直子

(序文) 今まで鳥に興味は持っていませんでしたが、種類を調べたり観察をしたりということ、は、有りませんでした。文京高校に入学し、多くの鳥が飛んでいるのに気づき、どんな種類が飛んでいるのか知りたくなり、調べることにしました。
(目的) 文京高校敷地内にどんな種類の鳥がいるのかを知る。
(方法) 週に一、二度校庭を見回ったり、屋上で、フィールドスコープを使って見えたる鳥を月別にチェックしておく。

都会で見られる鳥と、文京高校で見られる鳥の比較

	都会	文京高校
ツバメ	○	○
キジバト	○	○
ヒヨドリ	○	○
ハクセキレイ	○	×
イソツバメ	○	×
ウグイス	×	○
メジロ	×	○
スズメ	○	○
ムクドリ	○	○

	都会	文京高校
オナガ	○	○
ハシブトガラス	○	○
カワウ	○	×
シジュウカラ	○	○
カワセミ	○	×
チョウゲンボウ	○	×
ユリカモメ	○	×
ドバト	○	×

都会に住む鳥について

一、目立たないよう生きていて、スズメ、カラス、オナガ、ムクドリ、ツバメ、ハクセキレイなど、色彩的に地味で、雌雄の区別がはっきりしないし、声もよくない。食性の幅が広い。(最近では、ポップコーンや、人口食品を食べ、スズメや、メジロをおそう。)

二、巣独りも群れ生活者が多い。

三、人と鳥との距離を狭め、時には、人を利用して生活している。

四、環境変化に対する適応性に富む。

五、旺盛な繁殖力と繁殖期の長期化。(キジバト、ドバトは、ほぼ一年中繁殖)

考察

都会で見られる鳥と文京高校で見られる鳥の比較のグラフから、大きな違いを見てみると、不思議なことに、都会で見られる鳥の中にいない「ウグイス」「メジロ」が文京高校では見られました。反対に、都会ではどこでも見られる「ドバト」が文京高校では見られませんでした。

これはたぶん、比較的緑を必要とする「ウグイス」「メジロ」は緑の多い文京高校に集まってきて、「ドバト」などの人の捨てた食べ物が必要とする鳥は、文京高校敷地内よりも、駅などの人が密集して、人の食べカスが多い所に集まっているからだと言えます。

このことから言えるように、都会の鳥は、人と鳥との距離を狭め、ときには人を利用して生活していることと、食性の幅が広いことがよく分かります。

この観察を通じ、野鳥のような自然の中で生きてきた鳥でも、私たちのくらしが豊かになってきたと同時に、鳥も豊かな生活を求めてえさ場の多い都市にやってきた事が分かりました。野鳥が身近かな場所で見ることができるのはうれしい事です、自然と鳥との深いつながりがくずれていくと思うと、これから先、どうなってしまうのか、とても心配になります。これを機会にこれからは、時代とともに習性の変わりつつある野鳥について、もっと詳しく調べてみたいと思います。

校庭の雑草

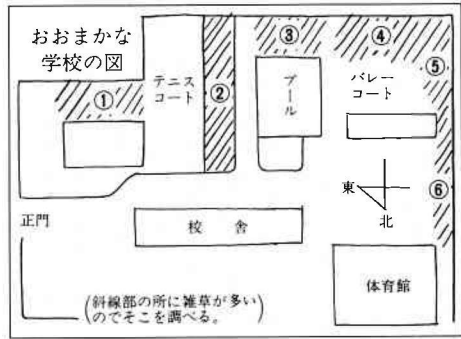
現2B 上金洋次郎
41期C 関 元弘

雑草は強い。畑や庭の手入れを怠ると、あつという間に雑草が芽を出し群落をつくってしまふ。踏まれても、刈られても、一次的に枯れてなくなるが必ずスキを突いて芽を出す。この不屈の魂の持ち主はいつても人間様に邪魔者によって、無視されている。しかし彼ら関心を持ってみると、それぞれ雑草が個性的で親しみがわいてくる。戦闘的な奴とか軟弱な奴等を見ていて面白い。そこで更に親睦を深めるために、一番身近かな校庭の雑草を調べた。

期間—夏から秋の始め

場所説明

- ①の所—両側に建物があるため、明るい直射日光の当る時間は短い。人の来ない所なので踏まれにくい。
- ②の所—元花壇で夏休み前までは何か植えてあった。日当りを良く、花壇だから踏まれることはない。
- ③の所—立ち木とブールの壁のため日も当たらない。踏まれにくい。
- ④の所—コートと2mも離れていないので、よく踏まれる。日当りは良い。(木陰は別)
- ⑤の所—膝位の高さの雑草が密集していて、奥まで踏みこめない。手前が日当たり良く、奥は悪い。
- ⑥の所—ここは運動場に面していて、よく人に踏まれ、草刈りの犠牲になる。日はよく当たる。地面は堅い。



※表に挙げた12種は、数の多かったものと、存在の仕方の特徴があるもの。

	踏まれにくい①	踏まれにくい②	踏まれにくい③	踏まれやすい④	踏まれやすい⑤	踏まれやすい⑥
ヤブガラシ (多年草)	◎	◎	×	◎	◎	×
エノコログサ (一年草)	△	◎	×	◎	◎	◎
オオバコ (多年草)	×	×	×	◎	×	×
オヒバシ (一年草)	△	×	×	◎	◎	○
オオアレチノギク (越年草)	△	△	×	△	△	△
イヌタデ (一年草)	△	×	◎	◎	△	○
ホソアオゲイトウ (一年草)	△	◎	◎	◎	◎	×
ノグシ (一年草)	△	△	×	△	△	△
ツクサ (一年草)	○	△	○	×	×	×
ドクダミ (多年草)	◎	×	○	×	×	×
ハルジオン (多年草)	◎	×	×	○	×	△
ブタクサ (一年草)	○	△	×	△	△	△

表の何種かについての説明
ヤブガラシ：よく見かけた雑草で、①、②、⑤のよな踏まれにくい所で、地面をはい、他の植物にまきつき、④のような踏まれやすい所では、壁や立木をつたっていた。
エノコログサ(イネ科)、オヒシバ：イネ科は、踏みつけに強く、日のよく当る④、⑤、⑥で最つとも多く存在した。
オオバコ：この雑草は踏みつけに強いので、④の一番踏まれ易い所に多く存在した。⑥も踏まれやすいが地面がかなり堅く、刈られ易いので存在しないと思われる。

オオアレチノギク、ノグシ、ブタクサ、ハルジオン：4種ともキク科で、まともにも成長すると、かなり大きくなる。これらは数は少ないが、③以外ならばどこでも見ることが出来る。
ドクダミ：これは日に当たる所よりも、むしろ①、③の方が好きらしく、④、⑤のような人に踏まれず、直射日光の当たらない所に多く存在する。

まとめ

今回の調査では、大まかな分布と種類分けしかできなかった。この結果をもとにそれぞれの雑草、存在の仕方と説明しきれない。まだまだ分布や勢力範囲等について何も書けないと思う。

一つだけ言えることは、雑草は環境に合わせて、自分を換換えるのではなく、自分の適した所に存在する。だから雑草はある所では不死身を誇るが、別の所では存在できないというように、以外と弱いということが分かった。

① 昭和38年3月卒業～62年3月卒業

大学別進学者数 作成：大塚義雄教諭

1. 進学決定校（1人1校、合格の累計ではない。
2. 4年制大学（除二部）
3. 全大学を網羅していない。
4. 同窓会名簿により集計。
5. 報告のない場合の漏れもある。

卒業年(3月)	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
大学	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
北海道大学	1	1	1	3			3	1				1		1						1			1		
帯広畜産大学						2				1															
弘前大学																				1					
東北大学					1	3						1													
山形大学							1												1					1	
宇都宮大学	1	1	2																1					1	
群馬大学			2		1	1																			1
教育大学	3	3	3	4	6	1			1	1				2		1	1						2	1	
茨城大学		1						1								1									
埼玉大学	6	11	6	7	11	6	4	5	4		1						4	3	3	2	1	3			3
千葉大学	8	12	7	3	12	11	1	1	3	1	2				2	2				1	1	1	1	1	1
お茶の水大学																			1						
東京大学	1		1														1								
一橋大学		1	1	3	1																				
東京工業大学	6	4	2	4	3	1				1	1											1			
学芸大学	7	6	4	5	6	5	7	3			1	1	2	5		3	1	1	1				1	1	
東京外語大学	3	2	5	1		1		1		1		1										1			1
東京医科歯科大学	1			1																					
横浜国立大学			1			3	2																		
電機通信大学	2		2	3	3	1					1	1				1									
富工大大学	5		2	3	2															3	1				
水産大学		2	1		2								1		1				2						1
商船大学	1	1			1		1								2										1
山梨大学				1							1										1				1
信州大学				1											2		1					1	1	2	
富山医薬大学						1																			1
金沢大学			1		1																				
京都大学	1																								
三重大学				1																					
岡山大学						2																			
山口大学																									1
芸術大学	1			1							2	1							2			1	1		
高崎経済大学			2	1													1								
都立大学	6	5	10	7	5	3	3	1	3			2	1	1		1		2	1	1				1	
横浜市立大学		2		1	3	2	1		1																
都留文科大学				2																					
室蘭工業大学				1																					
岩手大学				1																					
福島大学							1																		
秋田大学																	1								
宮崎医科大学																					1				
長岡技術科学大学																									1
学部区制	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学
群制																									
(92群)																									
(文・向・赤)																									
グループ制																									

② 昭和38年3月卒業～62年3月卒業 大学別進学者数 作成：大塚義雄教諭

1. 進学決定校
2. 4年制大学(除二部)
3. 全大学を網羅していない。
4. 同窓会名簿により集計。
5. 報告のない場合の漏れもある。

卒業年(3月)	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
大学	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	
青山学院大学	5	4	1	1	4	2	6	2	6	7	4	4	3	8	4	4	2	1								
学習院大学	2	1	3	1		3	1		3	2	4		3		1	1		1	3	3	2		2			
慶応義塾大学	8	5	11	14	11	5	5	2	3	6	5	1	2	2	1	2	1		2	2	2	1	1			
工学院大学	2	1		2	1		2	2	1	1	2		1	1		1			3	1	4					
国学院大学	1				1	1	3		1	1	4	4	1	2	1	3	1	1	1	2					2	
国際基督教大学			1	1						1																
駒沢大学							1	1	3	1	5	2	5	2	5	3	3	1	2	2	3	4	3	3		
芝浦工業大学			2	1		1				1	3	1	1	2	1	1	2	1	1					1		
上智大学	12	5	9	3	8	3	6	3	3	3	3	1	3	2	3			2	1	1	1			1		
慈恵医科大学			1			1												1								
昭和医科大学	1										1												1		1	
成蹊大学	1	3	4	3	5	1	2	1	2	2	4	4	1	1	3	2	1	4	2	1	3	1	2	1	1	
成城大学	4	1	1	2	3	2	1						3	2	3	1			1	1	3					
専修大学					3	1			2	2	5	1	8	3	3	3	2	5	2	1	2	4	5	2	2	
中央大学	15	12	12	9	20	11	9	4	2	5	5	8	8	5	1	4	4	4	3	5	3	3	7	3	3	
津田塾大学															1											
東海大学	1		3		1				3	4	4	6	7	7	7	3	8	4	4	6	4		5	1	2	
東京経済大学	1	1	1	1		2			2		1	3	2	2	2	2	1	1	5	6	1	1	1	1		
東京女子大学	1						1	1			1	1		1	1				1	1						
東京電機大学	4	3	5	1	4	1	1	1	1		2	2	2	1		2	1	2	1	1		3	1	1		
東京農業大学	2				1						5	2				2	2	1	2	4	1			1	1	
東京薬科大学	4	1	1	3	2	1		1		1	1	1	2	1	1		1	1					1			
東京理科大学	9	11	12	14	6	5	9	1	5	2	4	7	10	5	1	2		3	2	1				1	2	
東洋大学	1	1	2	2	4	2		6	3	6	6	4	8	8	7	8	18	9	8	3	8	2	5	3	2	
独協大学	3	2	3	8	2	1	3	3	7	4	4	9	3	7	6	4	5	3	7	3	5	5	4	2		
日本医科大学	17	18	11	19	22	2	2	6	9	19	21	32	21	35	23	21	11	18	11	13	11	12	11	7	5	
日本女子大学			1						1																	
法政大学	5	11	12		11	2	6	1	2	7	5	7	6	5	8	4	5	6	6	2	3	5	5	2	4	
星薬科大学			1	1	2									2	1		1									
武蔵大学	2	2	4		2	5			2	2	5	4		4	2	4	3	7	2	2	2	2	1	2		
武蔵工業大学	2	4	3	3	3	2	5				2	2			1			1	1	1						
明治大学	11	16	16	9	9	5	5	2	3	6	6	15	7	7	8	2	6	8	5	6	4	4	5			
明治学院大学	2		1	4	3	2	2	2	2		3	2	3	2	5	1		1	1	2	1	1	4		3	
明治薬科大学	1	1	2			1					1	2	1	1		1	2					1	1			
立教大学	7	6	6	12	9	3	4	3	8	6	7	6	2		5	4	1	1	3	3	2			1	1	
早稲田大学	36	37	29	38	20	10	14	4	6	9	7	4	2	8	6	5	1	3		1		1	3	2		
学学 区 制	学	学	学	学	学	学	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	群	
(92群 文・向・赤)																										
⑦グループ制																										

異

動

退 職 再雇備先

紺野 嘉夫 校長(60)平成元年)

定年退任(東京コンピュータ
専門学校)

荒井 道雄 社会(28)平成元年)

定年退任(嘱託・大泉高校)

大塚 義雄 社会(47)平成元年)

定年退任(嘱託・千歳高校)

田原 晃夫(56) 社会) 牛込商業高校

小野 良夫(43) 数学)

定年退任(巣鴨中・高校)

坂井 秀敏(58) 化学) 両国高校

渡辺 秀敏(53) 保体) 戸山高校

渡郎 明子(56) 音楽) 田柄高校

川崎 修(60) 英語) 武蔵丘高校

藤原 真名(60) 英語) 武蔵村山東高校

清水やよ江(61) 主査) 日比谷高校

高橋 熱子(53) 主事) 板橋養護学校

転 入

後藤 秀雄 校長 上野高校 より



井川 哲夫 社会
室橋 英治 社会
橋本 龍吾 社会
廣瀬 薫 数学
吉田 崇雄 化学
保科 幸裕 保体
賀持 勝男 音楽

北野高校より
大泉北高校より
富士高校より
北野高校より
篠崎高校より
足立新田高校より
城北高校より



三上 修 英語 九段高校より
清水 照夫 英語 北野高校より
千葉 芳弘 保体(嘱託) 小石川高校より
小島 房枝 主事 北養護学校より
花田 久美 主事 大塚ろう学校より
伊野 一雄 事務(嘱託) 神代高校より

同窓会幹事会

平成元年、六月三十日（金）18時から母校校長室で行われました。

（下の写真）

お知らせ

新聞広告協賛の件

毎日新聞一部版に母校紹介の記事が今迄数回掲載されました。

これは広告通信社が企画し、関係の方の協賛で出来た記事です。

母校でも、同窓会でも、企画した社への依頼は一切しておりません。

振込先が同窓会室でない依頼は一切しておりませんので、お含みおき下さい。

ご寄付は同窓会宛にお願い致します。



市三会

代表世話人
末正明
03-811-0755

市三会は卒業生有志の会として、昭和49年に発足し、毎月の例会、年に一回のバス旅行を中心として活躍し親睦を深めています。四月は母校校長室で、講演を含め、現校長、教頭の出席を頂き、母校の近況を伺っています。

（左写真は、龍子記念館入口）

卒業生進路状況 — 2 —

(4) 専門学校・各種学校

(平成元年4月調)

学 校 名	現役	浪人	合計	学 校 名	現役	浪人	合計
東京医科歯科大学附属看護学校	1		1	ホンダ・インターナショナルテクニカルスクール	1	1	1
杏林大学医学部附属看護学校	1(1)		1(1)	読売東京理工専門学校	1		1
板橋区医師会立看護専門学校	1		1	早稲田電子専門学校	1(1)		1(1)
日本大学医学部附属看護専門学校	1		1	東京工科大学	2		2
日本歯科大学専門学校	1(1)		1(1)	日本自動車整備専門学校	1(1)		1(1)
日本歯科大学附属歯科専門学校	1		1	東京建築専門学校	1		1
日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校	1		1	明生情報処理専門学校	1		1
日本歯科助手専門学校	1(1)		1(1)	東京カレッジビジネス専門学校	5(2)		5(2)
愛歯技工専門学校	1		1	東京電子専門学校	1		1
新東京歯科衛生士学校	1		1	千代田工科芸術専門学校	1(1)		1(1)
東京医薬専門学校	1(1)	1	2(1)	東京情報ビジネス専門学校	2		2
お茶の水医療秘書学院	1(1)		1(1)	日本美容専門学校	1(1)		1(1)
東京医療秘書専門学校	1(1)		1(1)	大塚末子きもの学院	1(1)		1(1)
神田外国語学院	2(2)		2(2)	東京デザイナー学院	1(1)		1(1)
東京外語専門学校	1(1)		1(1)	織田デザイン専門学校	1		1
東京Y M C A 英語専門学校	1		1	四谷文化服飾専門学校	1		1
日本外国語専門学校	2(1)		2(1)	東京服飾専門学校	1		1
大原簿記学校	4		4	武蔵野服飾美術専門学校	1		1
お茶の水スクール・オブ・ビジネス	2(1)		2(1)	文化服装学院	1(1)		1(1)
津田スクール・オブ・ビジネス	2(1)		2(1)	杉野学園ドレスマーカー女学院	1		1
東京商科学院専門学校	1	1	2	アーバン・デザイン・カレッジ	2		2
駿台E L S 英語専門学校	1		1	淑徳保育文化専門学校	1		1
エーヌエースタウンスクール	1(1)		1(1)	彰栄保育専門学校	1(1)		1(1)
東京スクール・オブ・ビジネス	3		3	竹早教員養成所	1		1
東京ビジネス専門学校	1		1	辻学園日本調理師専門学校	2(2)		2(2)
中野スクール・オブ・ビジネス	1(1)		1(1)	服部栄養専門学校	1(1)		1(1)
日商簿記専門学校	1	1	1	東京観光専門学校	1		1
村田簿記学校	1		1	東京Y M C A ホテル専門学校	1(1)		1(1)
早稲田情報ビジネス専門学校	1(1)		1(1)	日本社会体育専門学校	1(1)		1(1)
お茶の水ビジネス専門学校	1(1)		1(1)	東京栄養食糧専門学校	1(1)		1(1)
東京ビジネス外語専門学校	2(1)		2(1)	ヤマハ音楽振興会	1		1
東京会計法律専門学校	2(2)		2(2)	東放学園専門学校	1(1)		1(1)
P A L ビジネス専門学校	1(1)		1(1)	第二観光専門学校	1	1	1
中央工学校	1(1)	1	2(1)	東京アナウンス学園	1		1
東京工学院情報専門学校	1		1	バンパシフィックインスティテューツ	1		1
東京工業専門学校	1		1				
トヨタ学園日本自動車整備学校	1		1				
日本電子専門学校	3(1)	1	4(1)	合 計	92(39)	6	98(39)

(5) 就職合格者 民間 (平成元年3月)

氏 名	企 業 名	氏 名	企 業 名
防村 朋弘	第一電機工業(株)	辻見 茂子	日本不動産研究所
石原 誠己	日立化成	岡直 美子	日笠友沢証券
長瀬 克己	東日新光	村敬 久仁子	友クレンジットサービス
増田 川貴	東京新製	大南 仁子	太陽生
角田 川雅	東京新製	久林 久仁子	ランドスコスモ
仲島 田あゆみ	東京新製	本間 潮子	東京トヨタ自動車
的場 美保子	東京新製	本間 美弘	日本道路興業
奥 幸子	第一電機工業(株)	藤 来	コーセー化粧品販売

(6) 就職合格者 公務員関係

氏 名	官 公 庁 名	氏 名	官 公 庁 名
富居 幸子	行政特別区(B)	波多野 博史	税務(税務大学校)
千 美佐子	行特政	宗 像 かつお	新宿区役所
鈴 寛之	郵政		

(7) 都立高等職業技術専門学校(合格者)

氏 名	専 門 校	氏 名	専 門 校
荒木 健	板橋		

弁 護 士

二期E 早 川 律三郎

〒150 渋谷区神宮前2-30-5
原宿キャス텔 209号
早川律三郎法律事務所
Tel 475-0330

**出光ガソリン・貸ビル
自動車販売整備**

(市三會会長)

飯田橋・神保町

一期B 末 正 明

〒112 文京区後楽2-6-1

Tel(会)261-5111・(自)811-0755

同窓有志の集い

市 三 會

世話人 一期B 末 正明

一期B 栗原正昭

4期E 榎本幸三

産 婦 人 科

三期E 小 室 陽 一

〒114 北区岸町1-12-22
Tel(医院)907-0303・(自)907-0280

虎の門日比谷クリニック

(皮膚科・泌尿器科・形成外科)
健保扱い

一期C 山 中 秀 男

(自)〒152 目黒区目黒本町4-8-20

〒105 港区虎ノ門1-1-20

虎ノ門実業会館5階
Tel(医院)508-2508・(自)714-9518

弁 護 士

一期A 渡 辺 剛 彰

〒113 文京区西片2-12-23
Tel(事)814-1984・(自)811-7704

静谷クリニック

(内 科)

四期B 静 谷 晴 夫

〒170 豊島区西巣鴨4-6-2
Tel(医院)910-1136・(自)910-1219

中村耳鼻咽喉科医院

一期C 中 村 信 成

〒281 千葉市幕張町6-288-3

Tel(医院)0472-73-7026

(自宅)0472-72-6625

株式会社 八 洲

一期B 川 上 光 男

〒114 北区王子本町2-11-6
Tel(会)909-3211・(自)815-2839

東京都北区議会議員待遇者
医療法人赤羽病院理事長
王子税理士会顧問

税 理 士

四期E はいばら富士雄

〒115 北区志茂1-17-13
TEL 901-8554

銀座菊地病院・救急病院

(内科・外科・整形外科・皮膚泌尿科)
婦人科・人間ドック・検診

院長・二期A 湖 山 聖 道

〒104 中央区銀座7-13-15

Tel(病院) 541-1151

(自宅) 465-6113

(株) 栗原製作所

(各種ディスプレイ企画製造)

一期B 栗 原 正 昭

〒111 台東区元浅草4-5-5
Tel 841-2515(代)



駅伝大会
平成元年10月28日

賛助者、一期A組 鈴木勲士さんは、平成元年10月24日病氣のため亡くなられました。御冥福をお祈りします。

松栄(靴下・婦人下着小売)

18期G 松井好彦

〒111 台東区浅草橋1-21-1・松栄
Tel(会社) 866-9711
(自宅) 0473-36-2395

株博報堂・国際業務局

11期 籠 紘 矢

〒171 豊島区西池袋4-16-1
TEL(自) 982-0095
" (会) 240-7752

中村クリニック

3期B 中村 博

〒170 豊島区南大塚2-32-3
Tel(自)944-4103・(医院)945-8072

星野家具店

19期E 星野久男

〒173 板橋区仲宿40-4
Tel 961-9567

株 オクトパス

16期E 渋井正寛

〒357 飯能市岩沢105
TEL(自) 0429-74-0782
" (会) 985-6848

静谷歯科医院 (歯科一般)

4期D 静谷 栄夫

(午前)〒170 豊島区駒込3-11-3
Tel 915-1108
(午後)〒170 豊島区西巣鴨3-8-15
Tel 915-0072

一級建築士

19期I 加藤友和

〒115 北区赤羽2-56-10
加藤友和建築設計室
TEL. 903-4710
〒351 朝霞市朝志ヶ丘4-10-13-409
TEL. 0484-74-2085(自宅)

下田特許事務所

弁理士

17期E 大橋邦彦

〒171 豊島区長崎2-29-17
Tel(自宅) 957-1533
(事務所) 438-9181

HASEGAWA CO., LTD

代表取締役

5期C 長谷川(大郷)節子

〒114 北区栄町42-2-103
TEL 445-8905

斉藤商店(精肉・食品卸)

29期 斉藤智夫

〒112 文京区白山5-1-15
(会社) TEL 815-5771
(自宅) TEL 815-0029

税理士

18期C 野中 滋

〒170 豊島区駒込1-3-6-802
中根宏税理士事務所内
TEL. 945-8594
自宅 豊島区東池袋2-52-1
TEL. 982-6492

丸山歯科医院

8期B 丸山 記久磨

〒113 文京区本駒込5-44-2
TEL(自) 821-2294
(医院) "

荒川
河川敷
江北橋



賛助金は101万円です。(名簿付)同窓会までお申し込み下さい。

平成元年度
予 算 案

〔収 入〕		8,635,527円
繰越金		2,845,527円
利息		700,000円
会費(11,000×430)		4,730,000円
その他(賛助金)		360,000円
〔支 出〕		6,312,400円
経常費		4,312,400円
部(名簿・会報各5,000)		
事務手当(10,000×4)	50,000円	
名簿(600部とバラ50部)	1,508,400円	
会報(36.5×13,400)	490,000円	
〃 送料(72×12,000)	864,000円	
〃 宛名書き(140,000)		
〃 発送費(100,000)	240,000円	
学校案内(80×2,000)	160,000円	
後援費(母校・卒業生)	150,000円	
通信交通費	100,000円	
運営費	250,000円	
表彰費	250,000円	
慶弔費	50,000円	
予備費	200,000円	
基本財産	1,500,000円	
会館建設基金	100,000円	
50周年建設基金	400,000円	
〔繰越金〕		2,323,127円

印刷 郵便振替番号 シミズ印刷
〒一七〇 〇九一〇―八二三一
住所 豊島区西巢鴨1―1―5
立浪 邦治
渡部 弘曜

編集

平成元年12月10日刊

紫 筒 第32号

都立文京高等学校同窓会会報

昭和63年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和63. 6. 10～平成1. 5. 25の間の会計は次の通りです。

会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫

監査の上正確であることを認証します。
平成元年6月1日 会計監査 横沢 靖夫
野中 滋

1. 財産目録(1. 5. 25)		
イ. 基本財産	20,500,000円	
ロ. 現金	2,845,527円	
ハ. 物品		
①両開き書庫4 ②書類入れ1		
③金庫2 ③手提金庫1 ⑤机2,		
いす1 ⑥ファイル ⑦ストーブ		
1 ⑧カメラ3 9三脚1		
ニ. 郵便口座	120,000円	
ホ. 奨学基金	3,859,672円	
ヘ. 会館建設基金	2,439,961円	
ト. 50周年基金	2,640,000円	
2. 現金		
イ. 収 入	8,690,771円	
繰越し	2,792,989円	
会費(元年卒10,500×427)	4,483,500円	
利息	659,782円	
郵便振替	683,500円	
賛助金・奨学金	71,000円	
名簿代など		
ロ. 支 出	5,845,244円	
経常費	3,845,244円	
各部・事務手当	50,000円	
名簿(600部+バラ)	1,508,400円	
会報(36.5×13,000)	474,500円	
〃 送料(70×11,719)	820,330円	
〃 宛名書き発送	240,000円	
学校案内(76×2,000)	152,000円	
後援費	40,000円	
表彰21名	210,000円	
運営費	71,500円	
通信・交通費	68,400円	
記録写真	41,804円	
校舎改築	36,310円	
封筒	72,000円	
アンケート用紙	50,000円	
慶弔	10,000円	
基本財産	1,500,000円	
会館建設基金	100,000円	
50周年基金	400,000円	
ハ. 繰越し	2,845,527円	